SOMPO福祉財団 NEWs

Sompo Welfare Foundation

●第24回SOMPO福祉財団賞　講演会・シンポジウムを開催
●自動車購入費助成　助成先を決定
●住民参加型福祉活動資金助成　助成先を決定
●介護福祉士養成のための奨学金給付　奨学生を決定
●財団からのお知らせ

発行者　公益財団法人SOMPO福祉財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1　損保ジャパン本社ビル　TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
https://www.sompo-wf.org/　Eメール：office@sompo-wf.org

2023年度 vol.2

2023.11発行

第24回SOMPO福祉財団賞　講演会・シンポジウムを開催

7月22日(土)東京都千代田区のグランドアーク半蔵門にて、「SOMPO福祉財団賞※」の受賞記念講演会・シンポジウムを開催しました。大学関係者、学生・研究者、企業・行政の担当者、社会福祉団体関係者の皆様など、100名近い方にご参加いただきました。

※「SOMPO福祉財団賞」とは
社会福祉分野における優れた学術文献を表彰する制度です。社会福祉の学問的探求を志向する多くの学者、研究者の研究意欲を促進し、社会福祉の発展に寄与することを目的としています。



<受賞者 永田 祐 氏>

第Ⅰ部では、第24回「SOMPO福祉財団賞」の受賞者 永田 祐氏（同志社大学社会学部社会福祉学科教授）が、受賞著書『包括的な支援体制のガバナンス－実践と政策をつなぐ市町村福祉行政の展開』について講演されました。

第Ⅱ部では、『生活困難者への支援と包括性―研究と実務の視点から』をテーマにシンポジウムを開催しました。会場からの質問も踏まえて、白熱したディスカッションがなされました。

参加者からは「自治体のワンストップ相談窓口の運営の難しさについて考えさせられた。」「(包括的な支援体制の）ガバナンスは垂直的な調整（ヒエラルキー）ではなく、水平的な調整（協働）によって行われることに共感を受け、協働のあり方の大切さを感じた。」「(包括的な支援体制の）ガバナンスの考え方が大変参考になり、協働していくことが本人の支援や地域の変化につながっていくことを改めて学んだ。」「学者の専門性と地域で活躍されている方のそれぞれの立場での話が論議に幅をもたせてよかった。」「改めて自分の住む地域での支援センターや活動についての情報を確認したいと思った。」「社会福祉における課題に対して、実践、経済学、法律の観点からのアプローチを理解できた。」「身寄りがいない問題、困窮、権利擁護支援の在り方や考え方について考えさせられた。」など多くの感想がよせられました。




<懇親会の様子>

【シンポジウムご登壇者】
パ ネ リ ス ト：菊池　馨実 氏〔早稲田大学理事・法学学術院教授〕
駒村　康平 氏〔慶應義塾大学経済学部教授〕
朝比奈ミカ 氏〔市川市生活サポートセンターそら主任相談支援員〕
コメンテーター：永田　祐　氏〔同志社大学社会学部社会福祉学科教授〕
コーディネーター：秋元　美世 氏〔東洋大学大学院特任教授〕
平岡　公一 氏〔東京通信大学教授〕

自動車購入費助成　助成先を決定

自動車購入費助成は、障害者に対する福祉活動を行う団体にとってニーズの高い自動車購入資金を支援する事業です。本年度は東日本地区を対象に2023年６月から７月にかけて公募したところ、74件の応募があり、以下の10団体に合計1,498万円の助成を決定しました。

所在地	団　体　名	主　な　事　業	助成金額（予定）万円
北海道	特定非営利活動法人 ソレゾレ	放課後等デイサービス・日中一時支援・学校登校含む送迎支援	150
岩手県	特定非営利活動法人 NOWBELBE	就労継続支援Ｂ型事業所・放課後等デイサービス	150
宮城県	特定非営利活動法人 麦の会	就労継続支援Ｂ型事業所「コッペ」の運営、パン・クッキー等の製造販売	150
秋田県	特定非営利活動法人 なないろサポートネット	障害児、難病、重度障害者への居宅介護・重度訪問介護・訪問介護での介護支援	150
埼玉県	特定非営利活動法人 はぴねす	就労継続支援Ｂ型施設で（有機野菜栽培と販売、車椅子の点検、竹パウダー製造と販売）	150
埼玉県	特定非営利活動法人 地域で共に生きるナノ	地域活動支援センター（高次脳障害の方の居場所）・相談支援センター・移動支援	150
東京都	特定非営利活動法人 潮彩の会	障害者および高齢者に対し、社会参加と自立を支援（洗濯・清掃作業・食品の製造販売など）	148
富山県	特定非営利活動法人 まいど家	障害者に働く場所を提供し就労に必要な知識や能力向上のための支援、就労継続支援Ｂ型	150
静岡県	特定非営利活動法人 ワーキングライフ静岡	生活介護（袋詰め作業など）と就労継続支援Ｂ型（製品製作業など）の多機能型通所施設	150
愛知県	特定非営利活動法人 結絆	障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援する障害福祉サービス	150

※助成金の贈呈式は、損保ジャパンの各支店と協力のうえ、助成先団体にて開催する予定です。

●助成先からの活動の報告と贈呈式の様子



〈 特定非営利活動法人 山口ウッドムーンネットワーク 〉



〈 NPO法人 ゆくり 〉

住民参加型福祉活動資金助成　助成先を決定

住民参加型福祉活動資金助成は、地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行う活動に必要な資金を支援する事業です。本年度は西日本地区を対象に2023年６月から７月にかけて公募したところ、22件の応募があり、以下の８団体に合計184万円の助成を決定しました。

所在地	団体名	助成する活動の名称（内容）	助成金額（万円）
大阪府	人間研究所こころラボ (こどもお笑い道場・こどもお笑い食堂)	こどもお笑い道場における3つのコンテストのための助成	20
大阪府	Share de たかつき	ごちゃまぜマルシェ（備品購入、謝礼金など）	30
大阪府	南正雀まるっと。	地域をまるごと！まるっとマルシェ（会場拡大による備品購入など）	30
大阪府	ちびっと食堂@くらし	学習支援とおたがいさまのおせっかい（住民同士の助け合い活動）	26
大阪府	大人とこどもの寺子屋 ぱんげあ　ひろ	現金を必要としないリソース（資源）交換カフェで、居場所づくり	16
兵庫県	学習室ピア	小中学生の無料学習室を兼ねた子どもの居場所	14
兵庫県	子どもの居場所つくろう会	子どもの居場所づくり（スタッフ費用、活動備品、広報印刷費など）	18
沖縄県	あかゆらぬ花会	子どもの安心生活地域づくり（チラシ広告費、交通費など）	30

助成先からの活動の報告と贈呈式の様子

住参…「住民参加型福祉活動資金助成」
強化…「組織および事業活動の強化資金助成」

住参



地域・子ども食堂

＜はぐくみ食堂＞

住参



子育てワークショップ

＜Cafe Chotto ちゃっこ＞

強化



議会での文字通訳と手話通訳

＜特定非営利活動法人　長野サマライズ・センター＞

強化



医療的ケア児の在宅学習支援



研修交流会

＜特定非営利活動法人　スマイリングホスピタルジャパン＞

強化



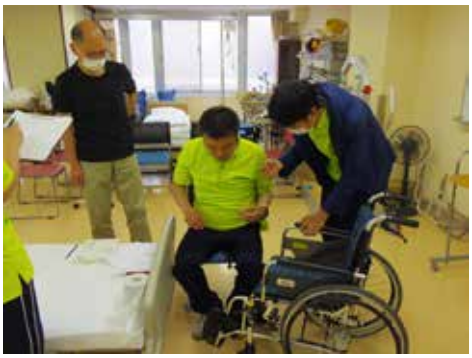
贈呈式の様子

＜特定非営利活動法人　鶴岡福祉村＞

介護福祉士養成のための奨学金給付　奨学生を決定

立派な介護福祉士を目指して勉強中！





全国の介護福祉士を目指す専修学校、福祉系高等学校の学生・生徒向けに募集を行い、専修学校生10名、高校生３名の合わせて13名の奨学生を決定しました。1992年から本制度を開始し、昨年度までの31年間で奨学金対象者は324名にのぼり（奨学金総額約2.2億円）、卒業生は全国の老人ホーム等の介護関連施設で活躍しています。







◆財団からのお知らせ

＜世界アルツハイマーデーおよび世界アルツハイマー月間の取り組みに対する後援を行いました＞


＜講演会の様子＞

９月16日に東京都新宿区で「(公社）認知症の人と家族の会」東京都支部が主催する講演会が開催されました。
当日は、「認知症の母と暮らしてみて～脳科学からみた認知症の理解～」というテーマで恩蔵先生（東京大学大学院総合文化研究科特任研究員）にお話しいただきました。

９月21日には日本各地で認知症支援のオレンジライトアップの取り組みが行われ、損害保険ジャパン本社ビルもライトアップされました。




＜オレンジライトアップ＞

＜第50回国際福祉機器展Ｈ.Ｃ.Ｒ.を後援しました＞

９月27日から東京ビッグサイトでアジア最大規模の福祉機器の総合展示会が、全国社会福祉協議会が主催、厚生労働省、経済産業省、当財団などが後援して４年振りに通常開催され、11万人を超える来場者がありました。最新の福祉機器の情報提供と福祉・介護・リハビリに関連する動向の紹介など、生活のあらゆる場面で利用される福祉・介護機器等の普及と開発や幅広い福祉分野の発展に活かせる最新情報の提供がありました。


＜第50回記念式典＞